

令和7年度 第1回 沖縄県認知症介護実践者研修カリキュラム・スケジュール

1回目

講義・演習1日目～3日目は集合研修、 講義・演習4日目(アセスメント、課題設定)、 報告会は集合研修
【会場】いちゅい具志川じんぶん館 【住所】うるま市川崎468番地 【課題取り組み初日】 オリエンテーション(初日に実施)

◆講義

日 付	単 元 名	目的	内容	形 態	時 間
		受付・オリエンテーション			9:15～9:55
講義1日目	1, 認知症ケアの基本				
	認知症ケアの理念・倫理と意思決定支援	認知症の人が望む生活を実現するため、認知症ケアの歴史的返還や認知症ケアの理念、認知症の原因疾患、中核症状、行動・心理症状(BPSD)の発症要因、認知症ケアの倫理や原則、認知症の人の意思決定支援のあり方について理解を深める。	・認知症ケアの理念と我が国の認知症施策 ・認知症に関する基本的知識 ・認知症ケアの倫理 ・認知症の人の意思決定支援 ・自己課題の設定	180分 講義・演習	10:00～13:00 (休憩10分含む)
	— 昼休憩 — (12:25～13:20)		55分		
	生活支援のためのケアの演習Ⅰ	食事・入浴・排泄等の基本的な生活場面において、中核症状の影響を理解した上で、認知症の人の有する能力に応じたケアとしての生活環境づくりやコミュニケーションを理解する。	・生活支援のためのケア ・認知症の生活障害 ・認知症の人の生活環境づくり ・中核症状の理解に基づくコミュニケーション ・生活場面ごとの生活障害の理解とケア	240分 講義・演習	14:00～18:00 (休憩30分含む)
	1日のレビュー			15分	17:20～17:35
講義2日目	— 本日の研修のねらい、連絡事項 —				9:00～
	生活支援のためのケアの演習Ⅰ(続き)	食事・入浴・排泄等の基本的な生活場面において、中核症状の影響を理解した上で、認知症の人の有する能力に応じたケアとしての生活環境づくりやコミュニケーションを理解する。	・生活支援のためのケア ・認知症の生活障害 ・認知症の人の生活環境づくり ・中核症状の理解に基づくコミュニケーション ・生活場面ごとの生活障害の理解とケア	60分 講義・演習	9:10～10:10
	QOLを高める活動と評価の観点	認知症の人の心理的安定やQOL(生活・人生の質)向上を目指す活動に関する基本的知識、展開例、評価の観点と方法について理解を深める。	・アクティビティの基礎的知識と展開 ・心理療法やアクティビティの評価方法	60分 講義・演習	10:20～11:20
	家族介護者の理解と支援方法	在宅で介護する家族支援を実践する上で、その家族の置かれている状況や心理、介護負担の要因を理解し、必要な支援方法が展開できる。	・家族介護者の理解 ・家族介護者の心理 ・家族介護者の支援方法	90分 講義・演習	11:30～13:00 (休憩5分含む)
	— 昼休憩 — (13:00～13:50)		50分		
	権利擁護の視点に基づく支援	権利擁護の視点から、認知症の人にとって適切なケアを理解し、自分自身の現状のケアを見直すとともに、身体拘束や高齢者虐待の防止の意識を深める。	・権利擁護の基本的知識 ・権利侵害行為としての高齢者虐待と身体拘束 ・権利擁護のための具体的な取り組み	90分 講義・演習	13:50～15:20 (休憩5分含む)
	地域資源の理解とケアへの活用	関係職種、団体との連携による地域づくりやネットワークづくり等を通じて、既存の地域資源の活用や認知症の人が地域で自分らしく暮らし続けるための地域資源の開発の提案ができる。	・認知症の人にとっての地域資源と実践者の役割 ・インフォーマルな地域資源活用 ・フォーマルな地域資源活用 ・地域資源としての介護保険施設・事業所等	120分 講義・演習	15:30～17:30 (休憩10分含む)
	1日のレビュー・連絡事項			20分	17:30～17:50
課題取組 初日	自施設・事業所で「学習成果の実践展開と共有」課題取り組みオリエンテーション 初日に実施。				
課題取組	自施設・事業所で「学習成果の実践展開と共有」の課題に取り組む(7日間)				

日 付	単 元 名	目的	内容	形 態	時 間
講義3日目	— 本日の研修のねらい、連絡事項 —				
	2,認知症の人への具体的支援のためのアセスメントとケアの実践				
	学習成果の実践展開と共有	認知症介護実践者研修におけるこれまでの学習成果を踏まえ、自施設・事業所での自らの認知症ケアを実践することにより、研修で得た知識を実践において展開する際に生じる気づきや疑問・課題を明らかにする。それらの自分自身の認知症ケア実践の課題や取り組みの方向性を検討し、他の受講者と共有することにより、知識の活用に関する幅広い視点を得る。	職場においての取り組み ・認知症の人本人の声を聴く(自施設・事業所における実践) ・事例収集(自施設・事業所における実践) ・中間課題の発表と共有 ・行動・心理症状(BPSD)の基本的知識 ・行動・心理症状(BPSD)の発症要因とケアの検討(事例演習) ・行動・心理症状(BPSD)の評価 ・生活の質の評価	60分 講義・演習	9:10～10:10
	生活支援のためのケアの演習2(行動・心理症状)	認知症の行動・心理症状(BPSD)が生じている認知症の人に対して、行動の背景を理解した上で生活の質が高められるようチームで支援できる。		120分 講義・演習	10:20～12:20 (休憩10分含む)
		— 昼休憩 — (12:20～13:20)			計240分
	生活支援のためのケアの演習2(行動・心理症状)(続き)	認知症の行動・心理症状(BPSD)が生じている認知症の人に対して、行動の背景を理解した上で生活の質が高められるようチームで支援できる。	・行動・心理症状(BPSD)の基本的知識 ・行動・心理症状(BPSD)の発症要因とケアの検討(事例演習) ・行動・心理症状(BPSD)の評価 ・生活の質の評価	120分 講義・演習	13:20～15:20 (休憩10分含む)
	アセスメントとケアの実践の基本	認知症の人の身体要因、心理要因、認知症の中核症状のアセスメントを行い、具体的なニーズを導くことができるようアセスメントの基本的視点を理解する。アセスメントを踏まえた目標の設定と、目標を実現するためのケアの実践計画の作成・立案・評価ができる。	・認知症の人のアセスメントの基礎知識 ・観察の方法とポイント ・アセスメントの実際(事例演習) ・実践計画作成の基礎的知識 ・実践計画作成の展開(事例演習) ・実践計画の評価とカンファレンス	120分 講義・演習	15:30～17:30 (休憩10分含む)
	1日のレビュー・連絡事項			15分	計300分 17:30～17:45
講義4日目	— 本日の研修のねらい、連絡事項 —				
	アセスメントとケアの実践の基本(続き)	認知症の人の身体要因、心理要因、認知症の中核症状のアセスメントを行い、具体的なニーズを導くことができるようアセスメントの基本的視点を理解する。アセスメントを踏まえた目標の設定と、目標を実現するためのケアの実践計画の作成・立案・評価ができる。	・認知症の人のアセスメントの基礎知識 ・観察の方法とポイント ・アセスメントの実際(事例演習) ・実践計画作成の基礎的知識 ・実践計画作成の展開(事例演習) ・実践計画の評価とカンファレンス	180分 講義・演習	9:10～12:10 (休憩20分含む)
		— 昼休憩 — (12:10～13:10)			
	まとめ方・報告の仕方・自施設実習オリエンテーション			25分 事務局	13:10～13:35 (休憩30分含む)
	職場実習の課題設定	認知症の人が望む生活の実現に向けて、適切にアセスメントを行い、課題と目標を明確にした上で、ケアの実践に関する計画を作成することができる。	・職場実習のねらい ・対象者選定 ・課題設定 ・4週間の行動計画の作成	240分 講義・演習	13:35～17:35 (休憩30分含む)
	1日のレビュー			15分	17:35～17:50

◆自施設実習

日 付	単 元 名	目的	内容	形 態	時 間
4週間	職場実習(アセスメントとケアの実践)	研修で学んだ内容を生かして、認知症の人や家族のニーズを明らかにするためのアセスメントができる。アセスメントの内容をもとに、認知症の人の生活支援に関する目標設定、ケアの実践計画及びケアの実践を展開できる。	・実習の準備 ・実習の開始 ・報告準備	実習	(各職場による)

◆実習報告会

日 付	単 元 名	目的	内容	形 態	時 間
最終日	受付・実習報告書提出				
	職場設実習評価	アセスメントやケアの実践計画の実施結果を整理した上で、客観的に評価、分析し職場及び自己の認知症ケアの今後の課題を明確にすることができる。	・職場実習報告 ・ケア実践計画の評価 ・職場への報告と展開	講義・演習	9:30～16:00 (お昼休憩含む) ※受講生の人数によって変動あり
	報告会終了後、修了式 16:00～16:30				